

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	臨床看護技術Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	赤木恭美 高木富士子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
人々の健康を促進するために必要な診療の補助行為に関わる援助方法の基本について学ぶ。主要症状に対して、人間の解剖生理学的メカニズムを理解し、対象の症状を改善するために必要な援助方法を習得する。また、今日の医療機器の発展は目覚しく多くの医療現場で使用されている。ME機器をどのような点に留意して患者に用いるのか、使用時の援助方法を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
出席ならびに課題提出状況並びに内容・演習参加態度・筆記試験で総合的に評価						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統学看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ 医学書院 系統学看護学講座 専門Ⅰ 臨床看護総論 基礎看護学④ 医学書院						
《授業外における学習方法》						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	痛みのメカニズム・アセスメントについて理解し説明できる	系統学看護学講 座 専門Ⅰ 基礎看護 技術Ⅱ・臨床看 護総論 医学書院	痛みの事例について事前 学習 レポート課題	
		各コマに おける 授業予定	1. 痛みの生理学的メカニズム 2. 痛みに関するアセスメント			
第2回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	痛みのある患者の看護について理解し説明できる。	系統学看護学講 座 専門Ⅰ 基礎看護 技術Ⅱ・臨床看 護総論 医学書院	授業内容の復習(小テスト の勉強) 呼吸器の解剖生理学の予 習	
		各コマに おける 授業予定	1. 痛みに影響をする心理的要因 2. 痛みの治療 3. 痛みを持つ患者の看護			
第3回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	呼吸障害を持つ患者のメカニズム・疾患について学び理解できる	系統学看護学講 座 専門Ⅰ 基礎看護 技術Ⅱ・臨床看 護総論 医学書院	授業内容の復習 呼吸障害の看護について 教科書で予習学習	
		各コマに おける 授業予定	1. 呼吸機能障害に関連する症状のメカニズム 2. 呼吸機能障害に関連する看護上のニーズ			
第4回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	呼吸障害を持つ患者の看護について共有し説明できる	系統学看護学講 座 専門Ⅰ 基礎看護 技術Ⅱ・臨床看 護総論 医学書院	レポート課題	
		各コマに おける 授業予定	1. 呼吸を楽にする方法の選択 2. 呼吸障害を持つ患者の看護			
第5回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	循環器を理解し、アセスメントすることができる。	系統学看護学講 座 専門Ⅰ 基礎看護 技術Ⅱ・臨床看 護総論 医学書院	授業の内容の復習(小テ ストの勉強) 循環器の解剖生理学の予 習	
		各コマに おける 授業予定	1. 循環の生理学的メカニズム 2. 循環に関連するアセスメント			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環障害を持つ患者の看護を学び、看護について説明できる。	系統学看護学講 専門Ⅰ 基礎看護 技術Ⅱ・臨床看 護総論 医学書院	
		各コマにおける授業予定	1. 循環障害を持つ患者の看護		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	排泄障害を持つ患者の看護について事例を通し、共有し説明できる	系統学看護学講 専門Ⅰ 基礎看護 技術Ⅱ・臨床看 護総論 医学書院	授業の内容の復習(小テストの勉強)
		各コマにおける授業予定	1. 排尿障害のある患者の看護 2. 便秘の患者の事例		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化吸収について理解し、アセスメントできる。	系統学看護学講 専門Ⅰ 基礎看護 技術Ⅱ・臨床看 護総論 医学書院	消化吸収障害の看護について教科書で予習
		各コマにおける授業予定	1. 消化吸収・排泄の生理学的メカニズム 2. 栄養障害について		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	意識障害のメカニズムを理解し、アセスメントできる	系統学看護学講 専門Ⅰ 基礎看護 技術Ⅱ・臨床看 護総論 医学書院	授業の内容の復習(小テストの勉強)
		各コマにおける授業予定	1. 意識障害のメカニズム 2. 意識障害に関連するアセスメント		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	意識障害のある患者の看護を理解し説明できる	系統学看護学講 専門Ⅰ 基礎看護 技術Ⅱ・臨床看 護総論 医学書院	
		各コマにおける授業予定	1. 意識障害を持つ患者の看護		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ME機器の原理と実際を学び説明できる	系統学看護学講 専門Ⅰ 基礎看護 技術Ⅱ・臨床看 護総論 医学書院 ME機器 DVD	レポート課題
		各コマにおける授業予定	1. 医療機器の使用目的 2. 医療機器の原理		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	測定用医療機器を実際に触れ、原理と実際を学び共有できる	系統学看護学講 専門Ⅰ 基礎看護 技術Ⅱ・臨床看 護総論 医学書院 ME機器 DVD	12誘導心電図測定演習の手順書の作成
		各コマにおける授業予定	1. 医療機器の使用手法 2. 医療機器の保守点検		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	シュミレーションを使用し12誘導心電図の技術を理解し、グループで共有できる	系統学看護学講 専門Ⅰ 基礎看護 技術Ⅱ・臨床看 護総論 医学書院 シュミレーション	演習後の振り返りレポート 吸引演習の手順書作成
		各コマにおける授業予定	フィジコを用いた12誘導心電図の実施		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	シュミレーションを使用し吸引の技術を理解でき、共有できる	系統学看護学講 専門Ⅰ 基礎看護 技術Ⅱ・臨床看 護総論 医学書院 シュミレーション	レポート課題
		各コマにおける授業予定	1. 口腔・鼻腔内吸引の実施 2. 閉鎖式気管内吸引の実施		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	シュミレーションを使用し吸引の技術を理解でき、共有できる	系統学看護学講 専門Ⅰ 基礎看護 技術Ⅱ・臨床看 護総論 医学書院 シュミレーション	演習後の振り返りレポート
		各コマにおける授業予定	1. 口腔・鼻腔内吸引の実施 2. 閉鎖式気管内吸引の実施		